No. 13

相楽郡第七区山田村耕地絵図面（そうらくぐんだいななくやまだむらこうちえずめん）

明治六（一八七三）年三月
縦一五七・五×横三〇一・〇cm
山田自治会所蔵

山田村の壬申地券地引絵図（じんしんちけんじびきえず）です。小字の種類が現在に比べてかなり多く、小字の錯綜や飛地も激しい状態です。

現在消滅した小字名のなかには、「釈迦堂」（現在の金堀の一部）・「西明寺」（現在の花原の一部）・「地蔵いん」（現在の相和の一部）・「城」（現在の相和・桜が丘一丁目の一部）など、記録には残っていない過去の寺院や城郭との関連があるかもしれない興味深い地名もみられます。

なお、本来この絵図は南を上にして描いていますが、現在の位置関係と比較しやすいように北を上にして写真を掲載しました。

【凡例】
（線）此印、井堰
（青）此色、川池井路
（朱）此色、道
（灰）此色、芝堤鋪
（黄）此色、田畑 ※
（緑）此色、山
（白）此色、民家屋鋪
（灰）此色、村墓

※実際には、山田川北側は黄色、南側は橙色

明治６(1873)年　山田村小字図

（耕地絵図面読み取り図）

（注）朱字は耕宅地、緑字は山地を表す。

山田村耕地絵図面　現在の位置関係

赤字は現在地の目安